

十勝地域公共交通計画推進管理状況（概要 1）

基本方針 1

広域移動ニーズを支える広域交通ネットワークの持続性確保

施策 1 広域移動ニーズを支える公共交通の確保に向けた検討・実施

目標

広域移動に係る利用実態を把握するとともに、地域ニーズを踏まえた移動手段の最適化に向けた検討をはじめとした持続可能な広域交通ネットワークの確保に向けた取組を進める

R6年度の主な取組

【事業①】広域移動に係る利用実態の調査、分析

【道】

・広域移動に係る利用実態に係るデータ収集、分析

【交通事業者】

・広域移動に係る利用実態などのデータ提供



➡ R7年度：必要に応じ、調査・分析を継続実施

【事業②】移動サービスの最適化に向けた検討、実施

【道】

・分科会体制による移動サービスの最適化に向けた検討
・関係者間の調整

【交通事業者】

・分科会体制による移動サービスの最適化に向けた検討



➡ R7年度：検討を継続し、実態に応じた見直しを実施

【事業③】地域ニーズを踏まえた移動手段の調査、研究

【道・市町村・交通事業者】

・観光地や空港アクセス、高規格道路を活用した快速化など地域ニーズを踏まえた移動手段の調査、研究

【交通事業者】

・更なる収益確保に向けた調査、研究



➡ R7年度：調査・研究を継続実施

施策 2 バス・タクシー運転手の確保

目標

公共交通の運行に必要なバス運転手等を確保するため、運転手の業務について魅力発信を行うとともに、中長期的な運転手確保に向けた取組を検討するなど、人材確保に努める

R6年度の主な取組

【事業①】バス・タクシー運転手の業務や魅力の発信

【道】

・バス運転手等の業務内容などを掲載したパンフレットの作成など、魅力の発信

【市町村】

・運転手確保に向けた交通事業者への協力、広報活動の実施

【交通事業者】

・運転手確保に向けた主体的な取組の実施



➡ R7年度：取組を継続実施

【事業②】人材確保の取組

【道】

・バス運転手体験会及び合同就職説明会の実施
・中長期的な運転手確保に向けた新たな取組の検討、実施

【市町村】

・中長期的な運転手確保に向けた新たな取組の協力

【交通事業者】

・大型二種免許等の資格取得支援制度などの人材確保の取組推進
・バス運転手体験会及び合同就職説明会の実施、広報活動の実施



➡ R7年度：継続を継続実施

評価指標 (KPI)

基準値(基準年)

実績値(令和6年度)

目標値(目標年)

A：住民等の広域交通の利用者数（千人）

1,519

1,725

B：公的資金が投入されている公共交通事業の収支率（％）

36.9

R7.6記入

41.9

C：公共交通への公的資金投入額（千円）

700,486

700,486

十勝地域公共交通計画推進管理状況（概要 2）

基本方針 2 シームレス化やデジタル化による広域交通の利便性向上

施策 3 乗継シームレス化によるサービスの利便性向上

目標 広域移動の利便性を向上させるため、交通モード間の乗継時間の改善や交通結節点へのアクセス性向上を図る

施策 4 デジタル技術活用による利便性向上

目標 利用者の利便性向上を図るため、重複路線の共通時刻表を作成するほか、乗車中の快適性向上に向けてバス車内でのフリーWi-Fiの導入を進めるとともに、情報発信や支払い方法の高度化や、MaaSの継続的推進に取り組みます。

R6年度の主な取組

【事業①】 幹線交通、広域交通と生活圏交通の連携強化

【道】


- 交通結節点における運行ダイヤの最適化に関する関係者間の調整
- 交通モード間、事業者間の連携に向けた調整

【市町村】

- 市町村内の生活圏交通の運行ダイヤの調整及び経路変更の可能性の検討

【交通事業者】

- 乗降データの提供、運行ダイヤの検討



→ R7年度：自治体の計画策定を踏まえ調査取組内容を継続

R6年度の主な取組

【事業①】 情報発信や支払い方法の高度化の検討

【道】

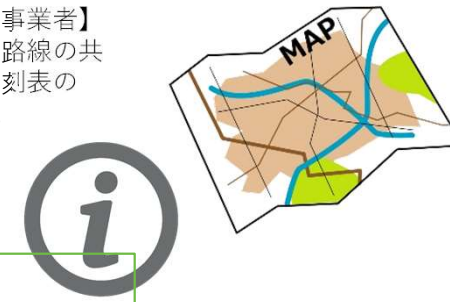
- 情報提供やキャッシュレス化など支払い方法の高度化の検討

【市町村】

- 通学定期助成や高齢者に対する無料バス券交付等に関する情報の発信
- 住民に対する公共交通の時刻表等の情報発信

【交通事業者】

- 重複路線の共通時刻表の作成



→ R7年度：取組を継続実施

【事業②】 交通結節点へのアクセス性向上

【道】

- 交通結節点における運行ダイヤの最適化に関する関係者間の調整

【市町村】

- 待合環境整備の検討（随時）

【交通事業者】

- 乗降データの提供、運行ダイヤの検討




→ R7年度：必要に応じ、検討及び実施

【事業②】 Wi-Fi等のデジタル設備の導入

【交通事業者】

- 路線バスへのWi-Fi等のデジタル設備の導入



→ R7年度：バス事業者において段階的に導入

【事業③】 ③MaaSの継続的推進

【道】


- MaaS「トカチケ」の継続的推進

【市町村】

- MaaS「トカチケ」の継続的推進、生活圏交通におけるMaaSの検討、実施

【交通事業者】

- MaaS「トカチケ」等のデジタル技術を活用したチケットの販売



→ R7年度：「トカチケ」の販売を継続実施

評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(令和6年度)	目標値(目標年)
A：住民等の広域交通の利用者数（千人）	1,519	R7.6記入	1,725
B：公的資金が投入されている公共交通事業の収支率（％）	36.9		41.9
C：公共交通への公的資金投入額（千円）	700,486		700,486

十勝地域公共交通計画推進管理状況（概要 3）

基本方針 3

地域全体で取り組む広域交通の利用促進

施策 5 公共交通の利用促進活動の実施

目標

ゼロカーボンに関する取組など脱炭素施策との連携を意識し、地域住民に対して、ライフスタイルに応じたモビリティ・マネジメントを実施することで、公共交通機関を利用する意識醸成を図るとともに、公共交通の利用促進キャンペーンや乗り方教室の実施などの利用促進活動に取り組みます。

R6年度の主な取組

【事業①】モビリティ・マネジメントの実施

- 【道】
- モビリティ・マネジメントに係る情報収集及び水平展開の実施
- 【市町村】
- モビリティ・マネジメントの検討、実施（児童向けの乗り方教室など）
- 【交通事業者】
- モビリティ・マネジメントの検討、実施



【事業②】公共交通利用促進活動の実施

- 【道】
- 公共交通利用促進活動（トカチケ・ノーカーデー等）の実施
- 【市町村】
- 公共交通利用促進活動の実施、協力
 - 自動車運転免許返納者への特典付与
 - 通学定期助成や高齢者に対する無料バス券交付等の住民への支援の検討、実施
- 【交通事業者】
- 公共交通利用促進活動（トカチケ・ノーカーデー等）の実施、協力
 - 企画乗車券の検討、実施



➡ R7年度：検討・実施を継続

➡ R7年度：取組を継続実施

評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(令和6年度)	目標値(目標年)
A：住民等の広域交通の利用者数（千人）	1,519	R7.6記入	1,725
B：公的資金が投入されている公共交通事業の収支率（％）	36.9		41.9
C：公共交通への公的資金投入額（千円）	700,486		700,486